

# 全国災対連ニュース

発行：災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会  
(略称・全国災対連)

2025年5月21日

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 全労連気付  
電話 03-5842-5611 FAX03-5842-5620 <http://www.zenkoku-saitairen.jp/>

第158号

## 能登半島地震・豪雨 被災地調査活動を実施 震災・豪雨から1年 被災地で今求められていること

全国災対連は5月16日、能登半島地震・豪雨被災地調査活動を実施しました。全国災対連に加盟する組織等から17名が参加しました(全労連2名、新建築技術者集団11名、農民連1名、東京災対連1名、石川災対連1名、被災者支援共同センター1名)。能登半島地震から1年、奥能登豪雨から7カ月が経過し、復旧・復興の遅れのもとで、医療現場、仮設住宅、農業等の様々な立場の現状を調査し、今後の被災者支援のとりくみにいかしていくことを目的とし現地入りしました。限られた時間のなかで、羽咋市にある被災者支援共同センターで調査団結団式を行い、輪島市内にある輪島診療所で医療現場についてお話を伺いました。さらにつながりのある仮設住宅に入居し農業をされている方からお話を伺い、その後、山間部で米農家をしている農民連会員の方からお話を伺い、被害にあった田んぼを見学しました。



輪島診療所の上濱事務長からは、「震災後、幸いにも建物が無事であったためすぐに診療を開始できた。今では利用者が震災前と比べ8割程戻っている。職員の半分程が仮設住宅にいるが、すぐに入居できなかつたり、遠方でないと入れなかつた方もいる。仮設住宅に入居できず仕事を辞め金沢市に移る人もいる。身近な要望として、道路の状態が悪いため事故や転倒が起りやすいので、整備をしてもらいたい。また家屋等の解体後に土地にガラス片や小石が残り、撤去まで業者がやってくれないことに困っている。」と述べました。

農業をしている方からは、「地震で家屋が全壊し、解体中に水害で流された。今は近くの仮設住宅で生活をしている。助成金で再建することは可能だが、金沢市内で建てた方が安い。複数のハウスメーカーに聞いたが、輪島市内は断られるか、300万円上乘せになる。」「水害の影響がひどく、田んぼが土砂であぜ道と同じ高さになった。機械でも手が付けられない。水の通る範囲で田んぼをやっている。自治体は家屋の解体に重点を置いていたが、道路の整備を先だと感じた。解体先に到着するまでかなりの時間を要していた。」と述べました。





最後に見学した山間部にある米農家では、地震の影響で地面が隆起、地割れが起きたため、高さが均一になるように田んぼを細かく分ける工夫をして続けていました。道中では、崩れたままになっていて危険なままの道や、田んぼの中で作業する工事車両がありました。土砂を積んだ大きなトラックが往来しており、まだまだ復旧・復興には時間がかかりそうでした。田んぼを見学した後、羽咋市の被災者支援共同センターに戻り、調査団解散式を行い、調査を終えました。 以 上



## 「人間の復興」を支える支援法の改正を！ 5・30 国会行動 オンライン参加をお願いします！

全国災対連は下記日程で被災者支援の強化を求めて院内集会・政府要請を行います。会場収容数が限られているためオンラインによる積極的な参加をお願いします。詳細は5月14日に全国災対連加盟組織あてに発出した文書をご確認ください。

<日程>

2025年5月30日(金) 12時~13時

<オンライン参加 URL> ※100名まで接続可能です。

- ・ミーティング ID: 813 7517 7964
- ・パスコード: 070996
- ・URL: <https://x.gd/vxNJx>



※全国災対連 Tel:03-5842-5611(担当:香月・藤井)